

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	歌志内市民祭り補助事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		歌志内市		
交付金事業実施場所		歌志内市字本町		
交付金事業の概要		本事業は、市や市民、企業などが連携して構成する「市民祭り実行委員会」に対し、会場費、広告費、花火費用として補助し、市民祭りを活性化させるために実施するものであり、本市にとっても地域の活性化に寄与するものと考えております。また、本年は7月9日に市コミュニティセンター駐車場において実施する予定であり、市内外から約2,000人の来場者が見込まれます。		
総事業費		500,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	318,000 318,000
交付金事業の成果目標		市民祭りは、平成22年から今回で8回目を迎える本市を代表するイベントの一つとなっております。しかし、来場者の多くが市民であり、市外からの来場者が少ないのが現状です。このため、本交付金を活用し、市民祭りの魅力や本市の地名をPRすることにより、地域の活性化や交流人口の増加に繋がると考えております。また、本事業を実施することにより、未だ本市を知らない方々に対しても、地名の認識や興味を持ってもらうことにより、将来的には本市への移住定住に繋げることを目標としており、ひいては発電用施設の設置及び運転の円滑化のため、地域の理解を促進していくこととします。		
交付金事業の成果指標		市内外から、2,000人を超える集客を図るため、会場費や印刷製本費、イベントの目玉である花火費用として本交付金を活用します。また、平成29年度においても同様に市民祭りを盛り上げ、地域の活性化に繋がるよう取り組みます。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用による宣伝効果から、開催日には昨年度を上回る約2,300人の来場者が本市を訪れ、地名のPR向上に繋がりました。また、当日は晴天にも恵まれたことや、イベントの目玉である「打ち上げ花火」を始めとする催事内容の充実を図った効果もあり、目標の来場者数(約2,000人)を超える結果となりました。このため、平成30年度以降についても、本事業を継続して実施することにより、市内外から更なる集客を目指すとともに、発電用施設の設置及び運転の円滑化に向けた地域への理解促進に繋がっていきます。なお、将来的な移住定住の目標については、平成32年度に改めて評価を実施いたします。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
補助金		補助	うたしない市民まつり実行委員会	500,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度   平成32年度				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。  
(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。  
(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。  
(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。  
(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。